

報道関係者各位

2019年11月7日
シュナイダーエレクトリック

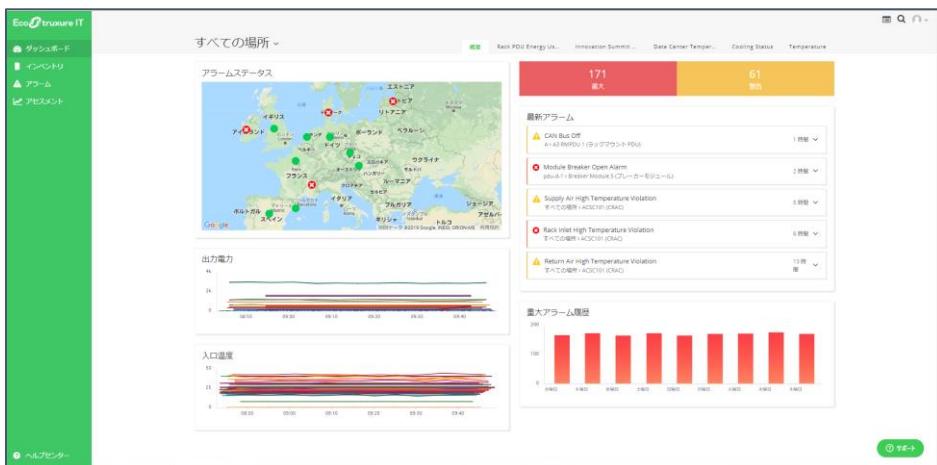
シュナイダーエレクトリック、"エッジ"のIT設備も監視する "サブスクリプションモデル"のITインフラ設備管理ソリューション 「EcoStruxure IT Expert」提供開始

- IT管理者が常駐していないエッジ環境、遠隔地や多拠点展開の施設にも対応
- クラウド経由のため、リモートでの運用監視データの収集、監視、モニタリングが可能になり、IT設備の運用効率を最適化
- 接続機器数単位での課金のため、スマートスタートが可能

エネルギー・マネジメントおよびオートメーションにおけるデジタルトランスフォーメーションのリーダーであるシュナイダーエレクトリックは、クラウドベースのITインフラ設備管理ソリューション「EcoStruxure™ IT Expert」（エコストラクチャー・アイティ・エキスパート）を12月1日に国内で販売を開始します。

シュナイダーエレクトリックのIoTプラットフォーム「EcoStruxure」アーキテクチャーの一部である「EcoStruxure IT Expert」は、クラウド経由でITスペースのインフラ設備の稼働状況、温湿度など環境情報、セキュリティ情報などのデータを収集し、監視や管理を行うITインフラ設備管理ソリューションです。常駐のIT管理者がいないオフィスや工場、店舗などの「エッジ」環境においてもIT設備がリアルタイムでリモートから監視できます。クラウドベースのため、アプリケーションのインストールが不要で複雑な導入作業が生じないため簡単に利用が開始できます。また、サブスクリプションでの提供のため、接続機器数単位での課金により、監視対象機器が少ない環境でもスマートスタートが可能です。

これまでシュナイダーエレクトリックでは、データセンター向けオンプレミスのDCIM（データセンターインフラ管理）として「StruxureWare（ストラクチャウェア）」を提供してきましたが、今回、新たにクラウドベースでの運用管理「EcoStruxure IT Expert」も提供開始します。



EcoStruxure IT Expert ダッシュボードイメージ



EcoStruxure IT Expert の主な特長は以下の通りです。

- ・ オンプレミス、クラウドとのハイブリット、分散環境などあらゆる IT 環境をリアルタイムで監視し一元管理
- ・ ネットワーク接続されたすべてのインフラ機器について、ベンダーを問わず状態を可視化
- ・ クラウドベースのアラーム監視とプロアクティブなインシデント管理をリモートサイトでも実現
- ・ サブスクリプションモデルにより初期投資を抑え費用面での柔軟性を実現
- ・ マルチテナント機能により、パートナーによる運用監視にも対応可能

リモート監視サービス「EcoStruxure Asset Advisor」

さらに、「EcoStruxure IT Expert」によって収集されたデータをもとに、シュナイダーエレクトリックの専門家が 24 時間 365 日遠隔監視をし、保守契約に基づいた修理対応を行う「EcoStruxure Asset Advisor」（エコストラクチャー・アセット アドバイザー）も 12 月 1 日に国内で提供を開始します。

「EcoStruxure Asset Advisor」は、シュナイダーエレクトリックの運用監視センター「Global Service Bureau」（グローバル・サービス・ビューロー）の専門家が、お客様にかわり 24 時間 365 日データセンター、サーバールーム、エッジなどの IT スペースを遠隔監視します。機器の異常や不具合を検知した際、プロアクティブにリモートで状態を確認し、シュナイダーエレクトリックの担当者が保守契約に基づいて修理交換を能動的に行います。また、利用者は、専用のスマートフォンアプリを活用することで、機器の運転データおよびアラームをいつでもどこでも把握できます。

本サービスでの修理交換は、まずはシュナイダーエレクトリックの三相 UPS と空調製品を対象とし、順次対象製品を拡大予定です。

なお、シュナイダーエレクトリックは、長期間にわたるデータセンター運用管理の経験により収集した膨大なデータと蓄積した多岐にわたる知見を活用し、データ分析やデータシミュレーションによるリスクの分析、ラックやフロアのデザインを可能にするソリューションの提供も予定しています。

EcoStruxure IT の詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

11 月 13 日 VMware 主催「vFORUM 2019」にて、EcoStruxure IT Expert をメインとしたエッジ管理ソリューションの講演を行います。参加ご希望の方は、イベント[登録サイト](#)から事前申し込みをお願いいたします。

Schneider Electricについて

シュナイダーエレクトリックは、全ての人がエネルギーとデジタルにアクセスできる環境を提供したいと考えています。エネルギーと資源を最大限活用することにより、いつでも、どこでも、だれにでも「Life Is On」を実現します。世界をリードするエネルギー技術、リアルタイムオートメーション、ソフトウェアとサービスを「ビル、データセンター、電力インフラ、工場」向に統合し、効率化と持続性を可能にするエネルギーとオートメーションのデジタルソリューションを提供しています。

私たちは、意義深い目標と包括的で実行力を伴う価値観をもって、オープン、グローバル、そして革新的なコミュニティの発展に尽力します。 www.se.com/jp

Discover Life Is On

Discover EcoStruxure

Follow us on:       

報道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

広報担当：金光真弓（かなみつまゆみ）

住所：東京都港区芝浦二丁目 15-6 オーゼ芝浦 MJ ビル

TEL : 080-3022-3067 Email : Mayumi.Kanamitsu@se.com